



2026年6月12日

各位

会社名 株式会社 Smile Holdings
代表者名 代表取締役社長 中西 正文
(コード: 7084、東証グロース)
問合せ先 経営企画部長 山田 義久
(TEL. 03-6421-7015)

2027年3月期および2028年3月期の通期連結業績予想の公表に関するお知らせ

(WITH ホールディングス 完全子会社化に伴う成長見通し)

2026年5月18日に公表いたしました「2026年3月期決算短信[日本基準] (連結)」において未定としておりました2027年3月期の業績予想、および2028年3月期の業績予想につきまして、下記の通りお知らせいたします。

記

1. 2027年3月期 通期連結業績予想 (2026年4月1日~2027年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
2026年3月期実績(A)	14,517	370	350	220	68.42
2027年3月期予想(B)	25,500	1,000	450	221	68.53
増減額(B-A)	10,983	630	100	1	0.11
増減率(%)	75.7%	170.3%	28.6%	0.5%	0.2%

2. 2028年3月期 通期連結業績予想 (2027年4月1日~2028年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
2027年3月期予想(A)	25,500	1,000	450	221	68.53
2028年3月期予想(B)	28,500	1,500	1,100	700	217.06
増減額(B-A)	3,000	500	650	479	148.53
増減率(%)	11.8%	50.0%	144.4%	216.7%	216.7%

3. 公表の理由

① 2027年3月期の業績予想の公表について

2026年5月8日に株式取得が完了した株式会社 WITH ホールディングス（以下、「WITH HD 社」）の財務情報や具体的な戦略等につきまして精査を行い、当社の連結業績に与える影響を合理的に算定することが可能となりましたため、未定としておりました2027年3月期の通期連結業績予想を公表いたします。

② 2028年3月期の業績予想の公表について

WITH HD 社の完全子会社化による事業シナジーの創出、一過性費用の控除および WITH HD 社の12カ月分の業績寄与（2027年3月期は9カ月のみ PL 合算）等を考慮し、グループ全体の本来の収益力をお示しすることを目的として2028年3月期の業績予想も併せて公表いたします。

4. 業績予想の補足説明

① 2027年3月期：大型 M&A 効果による大幅な営業増益と、統合に向けた戦略的投資

2027年3月期の通期連結業績予想におきましては、WITH HD 社の連結に伴い、営業利益が大幅に増加（2026年3月期実績比 170.3%増、1,000百万円）する見込みです。

一方、親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、将来の成長に向けた戦略的投資として、WITH HD 社の M&A に伴うファイナンス組成費用 約2億円、オフィス移転を中心とした統合関連費用約2億円の合計約4億円の一過性費用を織り込んだことにより、221百万円（2026年3月期実績比 0.5%増）となる見込みです。

② 一過性費用の影響について

上記の一過性費用につきましては、当期（2027年3月期）のみに発生するものであり、強固な経営基盤を構築するための先行投資と位置付けております。翌期以降の収益性に影響を与えるものではありません。

③ 2028年3月期：事業シナジーの本格発現により当期純利益7億円へ

これらの一過性費用が解消される2028年3月期におきましては、事業シナジーの本格発現と相まって、親会社株主に帰属する当期純利益は700百万円（2027年3月期予想比 216.7%増）と、大幅な拡大へ転じることを見込んでおります。

詳細な説明につきましては、本日公表の「2027年3月期および2028年3月期業績予想に関する説明資料」や、今月開示予定の新中期経営計画を併せてご参照ください。

注記

- ・上記に係るのれんの金額および償却額は現時点の見積り（暫定額）であり、今後の取得原価の配分（PPA）の手続き完了により、無形資産が認識され、のれん金額や償却負担額が変動する可能性があります。
- ・本業績予想には、2028年3月期より適用予定の新リース会計基準の影響は織り込んでおりません。

以 上